事例No.	2613
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	荒川バラの会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

荒川バラの会

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

荒川バラの会　　東京都荒川区

概　　要

都電荒川線を「みどりの軸」として位置付け、昭和６０年度からバラの植栽による緑化を進めている。これらのバラの管理を行政と地域住民が協働で取り組み、区民のバラへの愛着を深めることを目的に「荒川バラの会」が発足した。区内５箇所のバラ花壇を活動場所とし、年間を通して剪定や花がら摘み、除草、清掃などの維持管理を行うことで、毎年美しい花々を咲かせ、来訪者を楽しませている。





評価された点

・都電とバラの組み合わせは東京を代表する風景として定着し、観光客の目を楽しませている。地域住民の協力の下に、バラの手入れが行われていることにも注目されており、継続的な活動が期待される。
・年々、会員が増加している。行政と住民が協働しながら開催する「あらかわバラの市」は、区を代表するイベントの一つとなっている。これも地道にバラを育てるという活動が支えている。長年に亘る活動の蓄積が開花しており、今後の継続性も高い。また、新人会員に対する管理技術の伝承が行われている。今後は他地域との連携などを視野にいれるなど、活動を拡げている。
・東京に唯一残る都電沿線は、懐かしい風景としても人々の心の故郷となっている。それらは、地元の人々が見守り、育てるバラの植栽とその手入れをする姿が風景として映るからとも言える。東京の故郷づくりとしても貴重な市民活動である。

特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池　　東京都八王子市

概　　要

活動する地域は、市外から転入してきた新住民が多く、他の地域に比べ住民のつながりが希薄と言われてきたが、地域住民や企業、学校など様々な主体と協働・連携しながら公園・緑地の管理運営を中心とする活動を行い、地域のお祭りや市民参加による里山保全活動を展開することで、地域づくりを実践。





評価された点

・地域づくりの老舗。つながりが希薄な地域で活動をするようになり、地域のさまざまな人や組織との協働が生まれている。都市型の地域づくりのお手本として評価できる。
・様々な活動を通じて地域コミュニティに新たなつながりを作りだしている。市民参加による公園管理の仕組みなど、独自の先進的な取組みもユニーク。協働のまちづくりのノウハウの継承にも力を入れており、今後さらなる展開を期待。
・公園という誰でもいつでも行ける場所を地域づくりの拠点とし、ニュータウンにおけるつながりの場を提供している。
・都内で自然を残している八王子。その自然を生かして長年、市民交流活動に取り組み、数多くの実績を出している。
・常に新しいことにチャレンジしながら、地道な活動を展開してきた団体。国内の他地域、他団体にも影響をあたえてきた。
・ニュータウンの地域づくりとして示唆にとんでいる。
・地域住民とのつながりを大切にし、ニュータウンの難しい環境の中でも「やればできる」ということを証明してくれている。また、次世代への継承も評価できる。